

Tattoku kaikan

# 達徳会館

(旧兵庫県豊岡尋常中学校本館)



兵庫県指定重要有形文化財(建造物)





全景（寄棟屋根を西から）



入口扉の錠

達徳会館は当初、兵庫県豊岡尋常中学校本館として建てられました。豊岡尋常中学校は1896年(明治29年)4月に開校しましたが、すべての校舎が完成したのは6月26日でした。兵庫県下では姫路尋常中学校(現県立姫路西高等学校、1878年創立)に次いで開校した中学校で、3年後に豊岡中学校に改名しています。建築当初は現在の場所より東寄りにあり、入口を東に向け、南側には理化教室や教場などが並んでいました。本館の1階には校長室や教員室、宿直室、2階には講堂が配されていました。



中会議室階段下の意匠



【1階】



【2階】



中会議室(旧職員室)



2階大広間





ポーチ2階（正面）



玄関



階段（1階から）



隅柱のコンポジット様式の  
草飾り



玄関柱下の凝灰岩製土台石  
（青井石）



建物はいわゆる「擬洋風建築」で、明治時代初期から20年代にかけて伝統技術を身につけていた大工や棟梁が、洋式建築を参考にして造ったもので、当時の官公庁や学校などにはこの建築様式が積極的に取り入れられました。

木造2階建てで寄棟屋根を瓦で葺き、外壁は板を横向きに重ねた下見板張りとし、ペンキを塗って仕上げられています。正面にはベランダを付け、1階部分は吹き抜けとして玄関ポーチにしています。ポーチの4本柱の上部にはコンポジット様式の草飾りを、柱の下部には溶結凝灰岩の台座が据えられています。ベランダ正面には大きな2連の上げ下げ窓を開け、窓上部は三角ペディメントで飾られており、当初その内部は明治天皇・皇后の御真影を納めた奉安所になっていました。窓上部の三角ペディメントは、2階の上げ下げ窓すべてに採用されています。



2階窓と三角ペディメント（西面）



1936年(昭和11年)、老朽化と生徒数増加による校舎建て替えの際、本館も建て替えられることになっていましたが、それを惜しんだ同窓会が県からこの建物を譲り受けました。1941年(昭和16年)、移築の際に90°方向を変えて現在地に設置、同窓会の名称をとって「達徳会館」としました。

2008年(平成20年)3月、県立中等教育施設として現存最古であり、県内の中等教育施設の歴史を伝える建物として貴重であることから、兵庫県指定重要有形文化財(建造物)として指定を受け、現在に至っています。平成26年度から27年度に兵庫県及び豊岡市から補助を受けて、屋根の吹き替えや外壁塗装を始めとする全面改修工事を行いました。

達徳会館と校舎





# アクセス



外観と魂碑



一般社団法人 達徳会

〒668-0042 兵庫県豊岡市京町12番91号  
TEL・FAX 0796-23-1290